

連合自治会ニュース



「市長との政策懇談会」のご報告

連合自治会長 山内 満

8月21日に2年ぶりに開催された。橋北地区には多くの課題があるが、一つひとつ解決にむけ、地域からは以下の4つの課題について意見を提起した。一つ目は高齢化が進むなか、ユニバーサルデザイン化推進をめざすため、市は公園や道路の出入り口の段差の解消や公共施設物へもバリアフリー化していくこと。二つ目は空き家・空き地対策について、市として安心と安全並びに防災の立場から、老朽危険家屋の解体等への補助制度などを取り入れた条例制度などの検討促進をしていくこと。三つ目は緊急情報システム装置の整備と充実では、市として災害時に地区住民に正確な情報を伝達する手段の整備を急ぐこと。そのため沿岸部で不足している防災スピーカーの増設と防災行政無線機を現116台から270台へ増設し充実を図ること。最後の四つ目は河川環境美化について、河川は三重県と四日市市が分担して実施して年4回の芝・草刈りをしているが、更に充実した内容にしてほしいことなど。これらに対して今後も地域の声は大事にしていくことを確認しあい終了した。



自治会活動の紹介

新米の会長として、町内の皆様の温かい気持ちを支えに、これからも安心と安全を守るべく、日々努めてまいります。簡単に現況をご紹介します。

1) ゴミ置き場

私どもの自治会には、固定のゴミ置き場を設置する場所がなく、所定のご家庭の脇などにゴミを置かせていただいています。それゆえ、各家庭の方々がルールを守り、置かせていただいているご家庭に迷惑がかからないように置いていかれます。

おかげさまでゴミ置き場ないにもかかわらず、町内は美しく整えられています。

2) 消火器

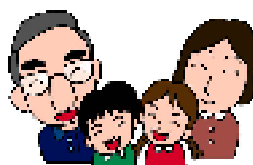
町内には14個の消火器を設置しております。どの道にも一つは設置するというので、その近辺のご家庭にご協力いただき、敷地内または隣接地に設置しました。

今後は町独自の防災倉庫の購入、設置を目指します。

3) 町の方々

なによりの自慢は町の方々そのものです。日頃から多くの方々が町運営にご理解、ご支援いただいている、来年度からは皆で町の世話役を順番制にして、「お互いさま」の気持ちでやっていたただけることにもなりました。これにより、孤軍奮闘して役探しをすることもなくなり、また、同じ人にずっとお願いする心配も解消されると思っています。

川原町第二自治会長 服部 浩明



橋北地区連合自治会 文化・広報部

発行責任者 山内 満

編集責任者 高波 功